

企画展「かんかん、にっこり 表情」展

会期：9月1日（金）～10月25日（水）

休館日：毎週木曜、毎月26日～30日

入館料：一般320円、中～大学生210円、小学生以下105円、団体要予約（20名以上）

開館時間：10時～16時

今回の当館企画展は、暁斎とその一門が描いた表情豊かな作品をご覧ください、楽しい展覧会です。特に暁斎は、大げさに怒り、笑い、嘆く人間たちを描く一方、穏やかな観音図や威厳あふれる神仏像に閻魔像を描いており、見ていて飽きません。さまざまな「喜・怒・哀・楽」の表情を、暁斎たちがどのように表現しているか、皆様も是非お確かめにおいでください。

「地獄の鬼の角切り」 暁斎 紙本 墨画

恐ろしい地獄の閻魔大王やその奥方と言われる奪衣婆も、今日の宴会では陽気に笑っています。なぜなら、地獄の鬼たちが美しい花魁に舌を抜かれ、腕つぶしの強そうな奥さんにノコギリで角を切られ、さらには角を切られないように逃げだす鬼や、角を切られた頭に愕然とする鬼まで・・・いつも地獄の亡者を苦しめている鬼たちも、形無しだからです。

この一図からも、暁斎が笑い・驚き・当惑など、様々な表情を巧みに表現できたことがわかります。

河鍋暁斎記念美術館の
HPへはこちらから→



栽培活動、楽しみがまたひとつ くるみ保育園長 松本 麻紀

なんだかすっきりしない日が続いていて、8月に入ってからプール遊びが思うようにできず、子どもたちは残念そう。月末のプール納めまであと何回入ることができるのか？おひさまが恋しいです。

雨降りでお庭に出られないある日、お部屋の窓から外をのぞき「雨降ってるね」と話している3歳児ふたりの姿がありました。すると、「あ、ひまわり！！」とひとりが声をあげました。年長さんが個々の植木鉢にまいたミニひまわりがいくつも雨の中咲いていることに気づいて教えています。雨でどんよりした気分を鮮やかな黄色、ピッとまっすぐにのびるひまわりが吹き飛ばしてくれるかのようで子どもたちも喜んでいました。なんともほ

／ほえましい一場面でした。

先月、へちまがぐんぐん育っているお話をさせていただきましたが、もうひとつのツルにはスイカの実が2つなり、へちまとともに日に日に大きく成長しています。どのくらいまで大きくなるのか、誰が食べつか、などなど話しながら収穫を待っています。

保育園では夏の栽培活動、そして、カブトムシやセミといった夏ならではの虫との触れ合いも大切に子どもたちと楽しんでいます。

9月に入ると運動会の練習が始まります。残暑厳しい中での練習という例年ですが、今年の秋はどんな陽気になるのでしょうか？ご近所のみなさまには音楽等でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。